

福島大学 器楽研究室

担当教員：中畑淳

研究概要および現在取り組んでいるテーマ

鍵盤楽器領域における、バロックから近現代に至るピアノ作品の作品解釈、演奏表現の研究と、器楽領域（管弦打楽器）における作品解釈ならびに室内楽を中心としたアンサンブル研究を行っています。修了生の中には学会発表や演奏活動、研究活動を行っている方や、音楽領域の教員として活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。



修了生の研究テーマ（抄）

- ・『ピアノ作品の音楽様式と演奏解釈の研究～巨匠的ピアニストの演奏表現に関する一考察～』 H30 年度修了
- ・『様々な楽器編成の作品におけるピアノパートとアンサンブルの研究～歌曲「ます」の編曲作品に関する一考察～』 H30 年度修了
- ・『クルターグ・ジェルジュを中心としたドイツ・ハンガリーのピアノ作品の演奏と研究～現代音楽の学校教育における授業実践の可能性～』 H30 年度修了
- ・『主要な時代様式の作品における演奏研究～導入期向けピアノ教本の選定と検討～』 R 元年度修了
- ・『ドイツ音楽における様式と演奏表現の研究～バロックからロマン派への変遷を通して～』 R 元年度修了
- ・『装飾的音型の解釈と演奏表現 ～ショパンの作品を題材として～』 R2 年度修了
- ・『ピアノ演奏において作品解釈の具現化に必要な音響を得るための効果的な体の使い方』 R2 年度修了

修了生の修了演奏プログラム（抄）

J.S.バッハ：パルティータ 第2番 ハ短調 BWV826

ベートーヴェン：ピアノソナタ 第30番 木長調 作品109

シューベルト：ピアノソナタ 第21番 変ロ長調 D960（遺作）

メンデルスゾーン：厳格なる変奏曲 二短調 作品54

ショパン：ピアノソナタ 第3番 口短調 作品58

バルトーク：ピアノソナタ